

## 食からも大川の良いとところを 発信していきたい

船頭寿司

中島 聖知 さん

きよのり

住所 〒831-0005 大川市大字向島1698-5  
TEL 0944-8613665  
営業時間 11時30分～14時30分、17時～

今月は船頭寿司の中島さんにお話を伺いました。

船頭寿司は、今年で創業55年。大川で長く親しまれている飲食店です。

「先代である父から店を引き継いで15年ほどになります。店に入るまでは、福岡市内の割烹料理店で4年間修行しました」

現在もその頃の経験を活かし、寿司以外にもコース料理や会席料理、仕出し料理などを手がけられているそうです。「大川の地域性もあるのかなと思います。都会で見かけるお寿司屋さんといえば、お寿司と一品料理が少しという所も多くありますが、大川だと

なんでも作る、なんでもするお寿司屋さんが多いですね」

先代の頃からの常連さんも多くいらっしやる船頭寿司。そんな船頭寿司ならではのこだわりもお聞きしました。

「生ものを出す仕事ですから、少しでも新鮮なものをお客様に提供できるように心掛けています。それから、可能な限り地元の魚を使うようにしています。近くでいえば、有明海や玄界灘で揚がった魚ですね。有明海での水揚げ量は減ってきていますが、せっかくすぐ近くで獲れた地元の魚なので、手に入るときは仕入れて、お客様に食べてもらいたいと思っています」

寿司のシャリには地元・大川の庄分酢のお酢を使い、食事と一緒に嗜むお酒は若波酒造のお酒を取り揃えているとも話された中島さん。

「船頭寿司でも取り入れることのできる、大川の美味しいもの・良いものは積極的に取り入れたいですね。せっかく大川に来ていただいているので、食事の時間でも大川を堪能していただきたいと考えています。特にお寿司屋さんには敷居が高いイメージがあると思いますが、入りやすいお店にしたいと思っています」

秋が深まってきたこの季節からは、どの魚も春の産卵を控えて栄養を蓄えているので、とても美味しくなるそうです。



船頭寿司



木工の街 大川らしい木目調のカウンター

「旬のものを旬の時期に楽しんでいただけたらとも思いますが、私個人としては、好きなものを好きな時に好きな順番で食べてもらえたら嬉しいですね。寿司はだんだん脂の濃いものを食べていくというのが通説ですが、お客様が仕事をされてお金を稼いで食べられるものですから、色々気にせず好きなように楽しんでもらいたいです」

今年世界的に新型コロナウイルス感染症に悩まされることとなりましたが、船頭寿司でも影響は大きかったのでしょうか。

「やはり影響は大きかったですね。今でも例年から比べると売上は落ち込んでいます。ただ徐々にではあります。もとに戻ってきている感じはしますね。特にお昼は、例年と変わらないくらいのお客様が来られるようになりました。ただ夜はまだ外出を控えられている方も多し、お酒を飲まれてから2軒目に来られる方もぐっと減りました。どの飲食店もそうだと思いますが、食べに来られる時間も帰られる時間も早くなりましたね。それからグループで来られた際も人数が以前と比べると少ないですね」

そんな状況下で企画された『大川エール飯』や『プレミアム飲食券 食へに行く券』などは、良い機会だったとも話されました。

「夏に発売された『食へに行く券』は、お店に来ていただいたり、仕出しを注文していただけたりと、飲食店を利用していたたく起爆剤になりました。あれがなければ、もつ

と悪い状況だったかもしれせんね。緊急事態宣言が出された4月から5月にかけて、大川市文化センター前で行った『大川エール飯』での屋台販売も支えになりました。料飲組合や観光協会のみならず、たくさんの方々を力合わせて乗り越えられたと思います。ちょうど一番落ち込んでいた時だったからこそ、売上云々よりも、同業者と顔を合わせられる機会ができたのがよかったです。すごく安心できました」

現在はGOTOトラベルなどの効果もあり、少しずつ遠方からのお客様も増えてきたと話された中島さん。

「大川市近隣に住まれている方などが日帰りで観光に来られることも増えたのかなと思います。特に土日はお昼に利用してくださる方が増えました。福岡や佐賀のお客様も増え、お昼に利用される方の半数は大川市外にお住まいの方ですね。これからそういった方々がより増えていくと、世の中が少しずつ動き始めたと思えるのか、強く実感できるのかなと思います」

現在、大川観光協会の副会

長も務められている中島さん。今月には大川活性化協議会と一緒に『大川エール飯』のフリーペーパーを発行されるとのこと。

「来期の4月からの一般社団法人化も同時に進めています。これまでと勝手が違ってくると思いますが、一般社団法人になることで出来ることもたくさん増えるんじゃないかなとも思っています。ですが、まずは大川に観光へ来てくれる人を増やさないといけないですね。土日は昇開橋やテラツアも以前のよう

に観光客が戻ってきているようです。屋外施設だからというのもあります。テラツアには観光案内なども多くある中で、大川の観光の拠点になってくれたら嬉しいですね」

船頭寿司からも大川の良いところを発信していきたいと話された中島さん。そんな中島さんの夢はなんでしょう。

「まずは、少しでも早く新型コロナウイルス感染症が終息して、一人でも多くの方が大川へ足を運んでもらえるようになればと思いますね。その中でも、食でも喜んでもらえるような存在になれるといいかなと思っています。そのためにもおもてなしできる態勢を整えて、これまで以上に大川をアピールできるようにしていきたいですね」



リーズナブルなコース料理も好評